

この度は、オシロスコープ用 広帯域高性能プローブをお買い求め下さり、有難うございます。

ご使用の前に、この取り扱い説明書をご一読くださる様にお願いいたします。

<仕様について>

本プローブの仕様は、入力インピーダンスが1MΩの基準オシロスコープに接続された状態で得られます。

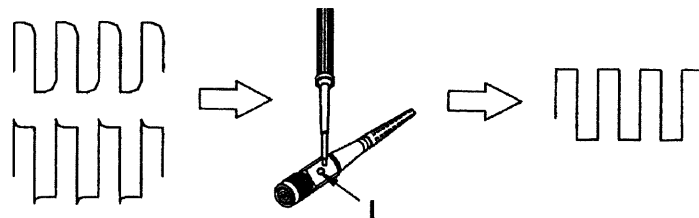
使用されるオシロスコープは、仕様温度範囲以内で20分間以上の予熱がなされているものとします。

Item	TP6060	TP6100
Attenuation	X1 : X10	
Input Resistance	1MΩ ±2%(X1):10MΩ ±2% (X10)	
Input Capacitance	X1: 85pF~115pF X10: 18.5pF~22.5pF	X1: 85pF~115pF X10: 14.5pF~17.5pF
Compensation Range	15pF~35pF	
System Bandwidth	DC~4MHz DC~60MHz	DC~6MHz DC~100MHz
Maximum Working Input Voltage	x:1: <200VDC+Peak AC x10: <600VDC+Peak AC	
Net Weight	<55g	
Cable Length	120cm	
Temperature Operating	-10℃--+50℃	
Temperature Non operating	-20℃--+75℃	
Humidity	≤85% (相对湿度)	

<プローブの低域特性の補正>

プローブをオシロスコープに接続する際は、必ずプローブの低域の補正 (Low-Frequency Compensation)を行ってください。

通常、オシロスコープのフロントパネルには1kHzの校正信号出力があります。プローブ本体の減衰比切替が10:1(x 10)であることを確認し、校正信号の矩形波の立上り及び、立下り部分が平坦となる様にトリマーを調整してください。



<最大測定電圧範囲>

プローブに印加できる最大電圧は、DC及びそれに重畳したACのピーク電圧で表わされます。減衰比10:1の場合の最大電圧はDCから低い周波数範囲までで得られますが、それ以上では減圧特性に拠って低下して行きます。

10MHzを超えると最大測定電圧は大変に低い値となりますので、ご注意ください。

減圧特性については以下のグラフ(Derating Curve)をご覧ください。

